



カプセル 内視鏡

CapsoCam Plus®を使用
360°視野角のパノラマ画像
が撮影可能な唯一のカプセル

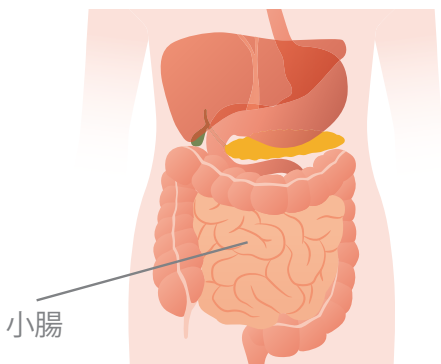
鉄欠乏症、クローン病、セリアック病、出血、または貧血でお悩みの患者様に、担当医が小腸[胃腸(GI)]管内部に異常があるかどうかを視覚化するために、カプセル内視鏡検査を処方する場合があります。

Capso **CAM**
PLUS

患者様の自由度を高めたデザイン

カプセル内視鏡とは何ですか？

カプセル内視鏡検査とは、飲み込まれたカプセルに内蔵されている超小型カメラを使用して、カプセルが小腸を通過するあいだに、医師が小腸内部を診察することができる検査です。小腸は、より侵襲的な従来型の内視鏡検査では届きにくく見ることが困難な領域です。



CapsoCam Plusはどのように機能しますか？

CapsoCam Plusは、腸内を通過する際に、他に類を見ない視野が360°のビデオを撮影します。検査は簡単です：

- 腸の内部が確実にきれいに見えるように、検査前日に簡単な腸管前処置に従います。
- コップ1杯の水でカプセルを飲み込みます。
- 3～30時間後に、排便のあとで簡単な回収プロセスを使用してカプセルを回収します。
- カプセルを担当医まで郵送するか、持参します。
- 担当医は、ビデオを閲覧してから、結果をお伝えします。



CapsoCam Plusカプセルは、大きめの複合ビタミン剤とほぼ同じサイズで、水を少しずつ数回飲むことで飲み込むことができます。

痛みを感じますか？

カプセルを飲み込む間やカプセルが消化管を通過する際には、全く痛みを感じないはずです。CapsoCam Plusカプセルは、排便によって自然に排出されます。他の内視鏡検査とは異なり、鎮静を必要としません。

カプセルを服用するには どのような準備が必要ですか？

カプセルを飲み込む前に、服用しているすべての医薬品、薬物アレルギー、健康状態のリストを担当医に提出してください。担当医がいつ絶食を開始したらよいかをお伝えします。また、術前・術後の指示も与えられます。この検査を成功させるためには、担当医の指示に注意深く従ってください。

「私の患者さん達はいつも、CapsoCam Plusカプセルがあまりにも簡単に飲み込むことができるので驚いています。そして、カプセルの回収はとても簡単でスムーズに行うことができます。」

Michael Bass, M.D., 胃腸科医

デラウェア州、ニューアーク、デラウェア胃腸専門医グループ

「選択肢が与えられた場合、私の患者さん達は、CapsoCam Plusを選びます。患者さんは、来院して、カプセルを飲み、誰にも知られずに通常の活動を再び続けることができます。」

Ian Storch, D.O., 胃腸科医
ニューヨーク州、ニューハイドパーク
ロングアイランド胃腸科コンサルタント



カプセルはどのように回収しますか？

CapsoCam Plusカプセルを飲み込む前に、担当医がCapsoRetrieveキットをお渡しします。キットを自宅に持ち帰りすぐに使用説明書を読んでください。何か質問があれば、必ず担当医に尋ねてください。

また、カプセルの回収プロセスについての短いビデオを閲覧できるCapsoVisionウェブサイトにもアクセスすることもできます。



下記の当社ウェブサイトアクセスして
**CapsoCam Plusカプセル回収法に関する
短い説明ビデオを見ることもできます:**

<https://capsovision.com/patient-resources/what-to-expect-with-capsocam/>

CapsoRetrieveキットを使用すると簡単にカプセルを取り出すことができます。



1

排便したくなったら、便器の上に回収容器を置きます。



2

必要に応じて、容器の中に水を注ぐと、カプセルが見やすくなります。



3

手を使わずに回収するために、マグネティックワンドを使用して回収容器中のカプセルを取り出します。



4

回収ビンの蓋を使用してカプセルをマグネティックワンドから外し、ビンに入れます。



5

蓋をロックしてから回収ビンを経験医のオフィスに返却します。



または

あるいは、担当医から料金前払い済のFedEx®封筒を受け取っていた場合は、回収ビンをそれに入れて、最寄りのFedEx営業所までお持ちください。

CapsoRetrieveキットには、カプセル回収プロセスの手引きとなる取扱説明書セットも1部同梱されています。注意深く指示を読み、何か不明の点があれば担当医にお尋ねください。

検査予約に関する情報

検査日付: _____

検査曜日: _____

検査時刻: _____

連絡先情報:

注意: 米国連邦法により、本デバイスは医師によるまたは医師の指示による販売に限定されています。

リスクに関する情報

まれにはあっても、すべてのカプセル内視鏡検査にはリスクが伴います。生じる可能性のある合併症には、誤嚥、小腸の閉塞によるカプセル滞留などがあります。内視鏡留置では、手技に起因するその他のリスクを生じることがあります。そのような合併症が生じた場合は、対処するために、内科的、内視鏡的または外科的な介入治療が必要となる場合があります。CapsoCam Plusが嚥下されてから排出されるまで、傷害を防止するために、患者さんはいかなる強力な電磁放射源 (MRI装置など) にも近づいてはなりません。詳細情報については、担当医にお尋ねください。



CapsoVision
empowering through innovation

CapsoVision.com